

環境にやさしい水道



仙台市の地形は、西から東に向かってだんだん低くなっているよ。この地形を利用して、西側の高いところに浄水場をつくることによって、できるだけポンプ(電気)を使わない「自然流下」で水道水をみんなの家に届けているんだよ！

自然流下ってなに？

水には、高いところから低いところに流れれる性質があり、これを「自然流下」といいます。



自然を守るためにわたしたちはどんなことができるかな？考えてみよう！



水道まめちしき

これできみも
すいどうはかせ
水道博士♪



Q1

水道水の検査は、何項目についておこなわれているの？

① およそ10項目

② およそ100項目

③ およそ200項目

Q2

仙台市で水道の供給がはじまったのは、いつ？

① 明治12年

② 大正12年

③ 昭和12年

Q3

水道料金は、1リットルでどれくらい？

① 0.2円

② 20円

③ 200円

～まめちしき～

水道法という法律で決められた検査項目はおよそ50項目。仙台市では、それよりもずっと多い項目を検査しているんだ！ちなみに、お店で売られているミネラルウォーターのパルトンさんに調査・設計をお願いして、その結果が仙台の水道の基礎になったんだよ。



Q1.2.3... Q2.2.3... Q3.2.3... ①

比べてみよう！

浄水場で1日につくられる水

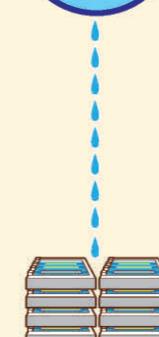
※季節や日によってつくられる水の量は変わります。
これは令和元年度の平均値です。

学校の
25メートルプール
約250,000リットルで
かぎえると…



中原浄水場

およそ
80杯分



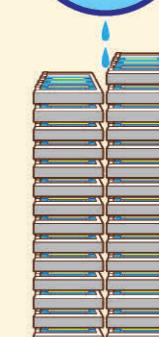
福岡浄水場

およそ
120杯分



国見浄水場

およそ
290杯分



茂庭浄水場

およそ
490杯分

